

ユニセフのつどい 2019 in みやぎ

5/26 (日)

13:20~15:40 (開場13:00)

シンポジウム



仙台市シルバーセンター
交流ホール



— 守りたい、子どもたちの未来 —

パ
ネ
リ
ス
ト

- ◎ 佐藤敏郎さん・・・元中学校教諭、全国で講師活動
- ◎ 丹野祐子さん・・・閑上中学校遺族会代表
- ◎ 元女川一中生・・・「女川千年の命を守る会」活動
- ◎ 谷口光さん・・・公益財団法人日本ユニセフ協会職員
- ◆コーディネーター: 渡辺祥子さん (アナウンサー・朗読家)



佐藤敏郎さん



丹野祐子さん



©日本ユニセフ協会/2014

女川中学校に建立された「いのちの石碑」



渡辺祥子さん

- 入場 無料 事前にお申込みください 参加券をお送りします 会場定員は300名です
- 申し込み 電話 (022-218-5358) FAX (022-218-3663) ※申し込み詳細はチラシ裏面を
E-mail: sn.municef_miyagi@todock.coop にて受付 ぐらんください

●主催 宮城県ユニセフ協会 (仙台市泉区八乙女 4-2-2 みやぎ生協 A 棟3F)

●共催 宮城県生活協同組合連合会、みやぎ生活協同組合

●後援 宮城県、仙台市、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、河北新報社 エフエム仙台

NHK 仙台放送局 仙台放送 TBC 東北放送 KHB 東日本放送 ミヤギテレビ

ユニセフ（国際連合児童基金）は、子どもたちの命と健康を守るために、世界190の国と地域で活動する国連機関です。世界のすべての子どもたちが、十分なケアを受けながら心身ともに健やかに成長できるよう、保健、栄養、水と衛生、教育などの支援事業、迅速な緊急支援活動、政策提言（アドボカシー）活動を行っています。

1. 子どもの命と成長、そして未来を守る・・・主に予防可能な原因で命を失う5歳未満の子ども、年間540万人
2. すべての子どもに教育を・・・初等教育さえ受けられない子ども、6,100万人
3. エイズと闘う・・・エイズで親を亡くした子ども、1,340万人
4. 暴力、搾取、虐待から子どもを守る・・・厳しい労働に苦しむ子ども、1億5,200万人
5. 子どもの権利を実現するための政策の実現やパートナーシップの構築・・・各国政府への働きかけを行います



● **佐藤敏郎さん** 元公立中学校国語教諭。74名の児童と教員10名が津波の犠牲となった石巻市立大川小学校で6年生の次女を亡くす。2013年11月に「小さな命の意味を考える会」を設立。震災時は女川町立女川第一中学校教諭で、俳句を通して震災と向き合う授業を展開。2015年3月で教職を辞し、全国で講演活動を行っている。東北放送ラジオ「佐藤敏郎のオナガワ・ナウ！」パーソナリティ。2017年4月、宮城県ユニセフ協会での講演会講師を務めた。

● **「いのちの石碑プロジェクト」** 被災後の4月に中学生となった生徒たちは、1000年後まで津波の教訓を伝えるために、津波到達点よりも高いところに石碑を建てることを決定。女川の浜の数と同じ21基を20歳になるまでに建てる計画を立てた。建立費用の1000万円を募金により集めた。1基目は2013年11月に中学校に建てることのできた。石碑1基1基に異なった俳句と、千年後の人たちが災害から身を守れるようにと、学んだ教訓を刻んだ。今年成人式を迎えた。

● **丹野祐子さん** 名取市の閑上中学校遺族会代表。中学1年の長男を津波で亡くし、14名の生徒の遺族とともに会を設立。震災翌年の3月11日、遺族会のメンバーとともに、子どもたちの生きた証しを残すために慰霊碑を建立。津波復興祈念資料館「閑上の記憶」の語り部第一号。語り部や案内人として「閑上の記憶」をはじめ、県内外で「伝える活動」を行っている。

● **谷口光さん** 2003年より公益財団法人日本ユニセフ協会勤務。2011年3月より1年間、東日本大震災緊急支援本部宮城フィールドオフィス駐在、仙台市で暮らす。宮城県における緊急支援活動をユニセフ職員とともにコーディネート。被災した保育園や幼稚園再建のために尽力。現在は、団体・企業事業部にて、協力企業とのパートナーシップ構築に従事している。

● **渡辺祥子さん** 1991年フリーアナウンサーとして独立し、仙台を拠点に幅広い分野で活躍。1998年より朗読家としての活動を開始し、活動の場を全国に広げると共に、「言葉の力・生きる力」をテーマとした講演や執筆にも取り組む。著書「3.11からのことづて～災後を生きる人たちの言葉～」(TOブックス)、朗読CD「『Brilliant Life～いのちの輝き～』(グロリア・アーツ)をリリース。「ユニセフのつどい2008～戦争が終わっても(高橋邦典氏)」で朗読を披露。2015年、「宮城県ユニセフ協会20年の歩み」のナレーションを担当。

お申し込みは、ハガキ・ファックス・電話・メールにてお願いします。
第1次締め切りは4月30日、「参加券」を5月8日までに送りいたします。第2次締め切りは5月15日で、申し込み多数の時は抽選、当選の方に「参加券」を送りいたします。

- ◆E-mail アドレス: sn.municef_miyagi@todock.coop
- ◆電話: 080-5849-6006 (ユニセフ 高橋)
- 託児はありませんが、同席いただけます。



開催会場: **仙台市シルバーセンター**
仙台市青葉区花京院 1-3-2

Tel 022-215-3191

・地下鉄「仙台駅」あるいは「広瀬通駅」より徒歩8分
・JR仙台駅より徒歩8分

◆ **公共交通機関でおいでください**

5/26 ユニセフのつどい2019 参加申し込み FAX 022-218-3663

お名前 _____ 参加人数 _____ 名

ご住所 〒 _____

電話 _____ 切り離さずこのままファックス送信してください

ご記入の情報は「ユニセフのつどい」参加者把握のために使用します